

## 第4次三田市環境基本計画～重点プロジェクト～の実施状況について

## ① さんだSDGs推進プロジェクト

自然環境、生物多様性、資源循環、都市・生活環境など様々な地域課題の解決に向けては、一人ひとりが理解を深め「自分ごと」として日々の暮らしから見直していくことが大切です。

あらゆる手法・機会を効果的に活用し、環境問題を身近に感じ、行動へとつながる情報発信と学習を進めます。



## 【令和6年度の主な取組について】

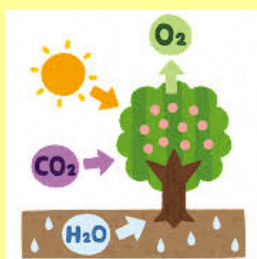
## 《「自分ごと」として取り組むために》

一人ひとりが環境問題をはじめとした地域課題について理解を深め「自分ごと」として捉えて行動に移すことができるよう、様々な環境教育や、体験型イベントなどを実施した。市民向けに、体験型の親子向け環境セミナー、里山保全セミナーの開催、市職員向けの第4次さんだエコプラン職員研修会での「CO2削減ゲーム」の体験などを実施し、体験を通して、一人ひとりが考え行動するきっかけづくりが実施できた。また、その過程において、広報やホームページのほか、市公式LINEやインスタグラムなどのSNSを活用した情報発信をした。

② さんだゼロカーボンシティ  
始動プロジェクト

市は2050年ゼロカーボンシティへの挑戦を表明し、まずは2030年までにCO2排出量を49%削減することを目標に、多様な主体が可能なことから取り組んでいくことが必要です。

今後5年間を目標達成に向けての“初動期間”と位置付け、2050年ゼロカーボンシティ実現に向けた着実な取り組みを進めます。



## 【令和6年度の主な取組について】

## 《CO2実質排出量（森林吸収量含む）》

- ・782,402t(三田市全体)-CO2(直近:2021年度)
- ・基準年度(2013年度)比11.9%減  
(目標:2030年度までに49%削減)

## 《一人ひとりの主体的な取組》

庁内関係課と共催し、気候変動対策に庁内横断的に取り組み、熱中症対策セミナーと子ども向け七夕ゼロカーボンチャレンジを開催。オール三田でゼロカーボンシティの実現をめざし取組推進ができた。

## 《市域の一事業所としての市の率先的な取組》

里山林整備等により発生する伐採木を薪、チップ等として資源循環する仕組みづくりのキックオフイベントなどを進めるとともに、市聖苑で公共施設への太陽光発電設備の設置に取り組むことができた。

③ 共創まちづくり推進  
プロジェクト

ごみや公害のない衛生的で快適な生活環境は、まちづくりの根幹を成すものです。地域に暮らす全ての人々が相互に理解を深め、多様性を認め合いながらマナー・モラルを尊重することで快適な住環境を維持し、誰もが快適に暮らし続けられる魅力的なまちづくりを進めます。



## 【令和6年度の主な取り組みについて】

## 《ごみや公害のない快適な生活環境をめざして》

パトロールの実施や通報等に基づく指導、企業敷地内の定期巡視確認、また市公式LINEや市HPを活用した不法投棄通報システムなどを実施し、公害防止や、不法投棄防止の強化を図った。

## 《地域住民の相互理解、マナー・モラルの向上》

ペットの飼養にあたっては、犬のふんの被害対策である「イエローカード・イエローチョーク作戦」の実施や、動物愛護フェアの開催などを通して、ペットのマナー啓発を行った。また、飼い主のいない猫(野良猫)対策として、市広報・HPでの啓発、PR動画の配信、TNR紹介パンフレットの回覧、苦情案件に対する助言指導などを実施し、TNR活動について、地域の理解を得ながら進めることができるよう取り組んだ。